

とする旨注意したるに依り小作人等は前示支部長藤原善次郎外二名を選び友清と交渉を開始せしめ其の他は同人方門前にて解決を待つ事としたるが友清と右代表者との交渉は徒らに遷延し長時間を経過するも解決するに至らず、日は暮れ寒氣は次第に加はりたるを以り門前に待てる小作人其他は数ヶ所に焚火を爲して氣勢をあげ漸次喧嘩を始むるに至りたるが繼て部落より酒等を運び來れるや之を叩りて益々氣勢をあげ狀勢次第に悪化し相次いで參集する部落民と共に呼聲を挙げ農民歌を唄ひ、友清を出せ、泥棒、圖賊等と罵倒し、友清を殺せ、火を點け上等進級の首を弄し、或は警察自動車を買ひて其の運動を妨害し應援進達の頭着を見るや「進査から遣つつけろ」と怒鳴り事態愈々激しなるや折柄同日午後十時頃前記石田進心通知を受け、直方市藤田支部

より組合員二十餘名來着するや三百餘名多敷來會し形勢俄に激甚となり遂に暴動化せんとする状態に陥りて爲警察の任に當る後藤寺警察署副署長中村和助は遂に解散を命じたも、彼氣立てる群衆は之に服せざるのみならず却つて解散が何かと反抗し警察官に對し暴行する者續出のみそれありたるより同警察官は被束の命を發し進査と協力し特に他人を指揮し又は率先助勢者と見よべき者より被束を始めたる處之に抵抗して進打らし或は拘合、折承を授け又は棒をふるいて打ちかけたるも幾何もなく附近の鐵道線路に退き線路上の石を擲んで之を友清方及び警察官に投げつけて騒擾し其等進査を爲すにつれて友清方進査子三十餘枚、屠殺丸五五十餘り及び其他を破壊し且つ進査七名を傷つけ捕らるるが其の概、